

BOATMEN

NPO法人 石川県小型船安全協会会報「ボートメン」 32号 (2020年12月発行号) Vol. **32**

緊急連絡

ベテランの会員様の海難事故が発生。
気を緩めず、安全を常に意識された行動を!

トピックス …… 海中転落者を捜索。県内プレジャーボートの事故件数、ざぶん賞2020伝達式など
活動報告 …… マリンレジャー安全推進旬間出動式、海難訓練、体験クルージング、海の授業など
行政から …… 金沢・七尾海上保安部着任のご挨拶

ざぶん賞受賞作品 © ポートマンズエッセイ・ぼくの大切な海

緊急連絡

2019年に、県内でベテランの漁業者の海難事故が複数発生し、残念ながら2020年には会員様の事故が発生いたしました。

特に最近では、65歳以上のベテラン船長による事故が多い傾向にあります。海中転落や体調不良による有人漂流など多発。また船齢の高い船舶で、機関故障による運航不能となる事故も多く発生しています。

必ず次のような行動をとりましょう。

- ・ 普段の体調管理を適切に行う。
- ・ 単独で行動せず、複数で行動する。
- ・ 救命胴衣は常時着用。
- ・ これまでの経験だけで判断しない。

何を差し置いても命を守ることが一番大事です。

大切な人のためにも適切な行動をとりましょう。

※本文は海上保安部からの助言に基づき編集したものです。

トピックス

小松安宅沖で会員が行方不明。

1月24日

小松マリクラブ所属のメンバーが、海域で行方不明になりました。1月24日の朝出港し、加賀市の伊切仲の水深24メートルのかかりでアジ釣りをし、その後安宅沖に移動しハチメ釣りをしていたところ、沖合に流されました。当日は仲間の船4隻と行動を共にしていましたが、昼前に風が出てきたため、3隻が帰港するも1隻が戻らず、すぐに何度か電話したが応答がなく、その後海上保安部、消防、警察に通報。小松マリクラブ救助部とともに捜索を開始しましたが、当日は発見されませんでした。翌25日、26日小松マリクラブメンバー45名、7隻を動員し捜索を継続しましたが、残念ながら発見に至りませんでした。

石川県のプレジャーボートの海難隻数が昨年より増加。

令和2年度の石川県のプレジャーボートの船舶事故件数は17件で、前年より1件増加しました。漁船・遊漁船事故は昨年より7件増加しました。

近年ベテランの方々の事故が増加しています。会員の皆様には、これまでの勘と経験だけに頼ることなく、安全意識を強く持ち、ライフジャケット着用、出向きの点検、運行マナーの徹底し、また事故ゼロを目指していただきますようお願いいたします。

令和1、2年 第九管区内 用途別海難事故発生件数

年度	石川県		富山県	新潟県	R2合計
	R2	R1	R2	R2	
漁船・遊漁船	17(+7)	10	4(+2)	8(-7)	29(+2)
プレジャーボート	9(+1)	8	8(±0)	17(-5)	34(-4)
貨物船	3(+2)	1	2(+1)	1(-7)	6(-4)
その他	0(-2)	2	1(±0)	2(-5)	3(-7)
合計	29(+8)	21	15(+3)	28(-24)	72(-13)

※R2年は速報値 ()は前年度比増減

コロナウイルス感染症防止のため、事業の多くが中止となりました。

2020年は、新型コロナウイルスによるパンデミックが発生。感染症防止のため、当会も多くの事業や会合、表彰式などが中止となりました。幸い会員の感染者については現時点で発生していませんが、今後とも事業の再開においては、感染防止に万全の対応を行ってまいります。

小中学生の海や水の作文公募、ざぶん賞2020開催。各省庁や自治体からの賞が交付。

今年で19回目となるざぶん賞が行われました。恒例の金沢での表彰式は、初めて中止となりました。コロナ禍で前半学校が休校するなど、異例の事態となりましたが、その中でも全国の小中学生から6,652作品の応募がありました。当会の各支部からも学校に事業の紹介を行い、多くの応募がありました。

文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、海上保安庁長官賞が交付。

昨年に続き、各省庁から賞を交付いただきました。

主な全国賞の受賞者

- | | | | |
|-----------|------|------|----|
| ・文部科学大臣賞 | 池田 進 | 鹿児島県 | 小1 |
| ・国土交通大臣賞 | 中井健太 | 兵庫県 | 中2 |
| ・環境大臣賞 | 桂木美桜 | 奈良県 | 中2 |
| ・水産庁長官賞 | 川邊真緒 | 岡山県 | 中2 |
| ・海上保安庁長官賞 | 木村 真 | 福井県 | 小5 |

金沢・七尾海上保安部に受賞された生徒が来訪し、保安部長から賞が渡されました

石川県内の入選者には、県知事賞、県教育委員会賞、金沢市長賞、白山市長賞、うみまる賞（金沢、七尾両海上保安部長表彰）、ソロプチミスト金沢賞が交付されました。うみまる賞は各海上保安部で授与されました。

石川県地区表彰の受賞者

- | | | |
|--------------------|--------|----|
| ・石川県知事賞 | 荒屋 知咲登 | 小5 |
| ・石川県教育委員会賞 | 沖田 衣愛 | 小2 |
| ・金沢市長賞 | 荒木 初音 | 小3 |
| ・白山市長賞 | 榮代 絢子 | 小4 |
| ・国際ソロプチミストくろゆり賞 | 片桐 叶瑛 | 小2 |
| ・うみまる賞（金沢海上保安部長表彰） | 世戸 一輝 | 小4 |
| ・うみまる賞（七尾海上保安部長表彰） | 辻花 和希 | 中2 |

うみまる賞（七尾海上保安部長表彰）の伝達式
七尾海上保安部にて、
受賞者 辻花さんと校長先生



うみまる賞（金沢海上保安部長表彰）の伝達式
金沢海上保安部にて、
受賞者 世戸さん

活動報告

総会開催。事業計画・予算が承認

3月 書面審議

通常総会は書面にて審議されました。

議案審議は、安全面で、通常的安全指導、パトロールの活動強化、ライフジャケットの着用徹底に加え、海上保安庁が提案する新たな活動への協力を行うことや、海洋体験推進事業、文化創造事業などの計画が承認されました。

また、コロナウイルスの感染状況によっては、事業が中止もありえることが承認されました。

役員改選について

退任

櫻井 浩一（七尾マリン協会）

新任

従二 恵二（長浜マリン協会）、

田中 孝三（雌島クラブ）

堂脇 清隆（七尾マリン協会）、

中野 清孝（小松マリンクラブ）

敬称略 その他の理事、監事は留任。

また、理事以外で会の運営やご意見にご協力いただいていた評議員については、その役職名を理事補佐に変更することとなりました。

石川県総合防災訓練も中止。

9月8日 穴水湾

本年度の石川県総合防災訓練は穴水町をメイン会場に行われる計画でした。前年同様、海上で自衛隊の艦船から物資搬入を協力するため、中居マリン協会の3隻が参加予定で、直前まで協議を行ってききましたが、中止となりました。

輪島で海難訓練を実施

8月30日 輪島マリンタウン

輪島市で、能登水難救済会と合同の訓練を開催しました。会員12名、他七尾海上保安部、輪島市防災対策室職員が参加しました。

落水者揚収法、感染防止に配慮した心肺蘇生法に関して学び、プレジャーボート乗員2名が落水し、ボートが無人で旋回という想定のもと、情報伝達、捜索・落水者揚収救助訓

練等を実施。救難所員の海難救助・救援に係る知識、技能の向上を図りました。



羽咋で安全講習会実施

2月23日 滝港マリーナ(羽咋支部)

金沢海上保安部、および気象協会の協力で、安全講習会を開催。25名が参加しました。海洋安全と気象に関する講習を受けました。

毎年5～6月に行っている訓練は中止となりました。

海の事故ゼロキャンペーン、出動式

7月23日 七尾港(能登支部)

海の事故ゼロキャンペーンの期間中に併せ、能登支部は、七尾警察署及び七尾海上保安部の合同で出動式を実施しました。

式の後、当会安全パトロール艇3隻が参加し、巡視艇はまゆき、はまゆき管理機動艇、警備艇いしかわとともに、七尾港及び周辺的安全パトロールを行い、プレジャーボート等の安全指導を行いました。



海上保安部との合同安全パトロール、

8月22日 金沢港(金沢支部)

金沢支部は、金沢海上保安部と合同で、夏季の安全パトロールを実施しました。

当会安全パトロール艇2隻が参加。海上保安部員が同乗

し、沖合で釣りをしている数隻に、安全のリーフレットなどをタモで配布し、安全活動の啓発を行いました。

また陸上では金沢港内をパトロールし、釣りなどを行っている一般の方々にも啓発活動を行いました。



ミニボートへの安全啓発や、ビーチでの安全パトロールを実施

6月28日、7月19日、20日、8月29日、10月4日
白山市海域(加南支部)

夏のレジャーシーズンにおいて、手取会の海上安全指導員が、近年県内各地でも増加しているミニボートへの安全啓発を、金沢海上保安部のご協力のもと行いました。

また、陸上からは白山市の徳光海岸で、パトロールを実施。各種アクティビティを楽しむ一般の愛好家に、安全啓発を行い、安全手帳などを配布しました。



堤防清掃活動と安全会議を同時開催。

9月12日 安宅漁港・梯川(加南支部)

小松マリクラブは、本年度の主要事業が中止となりましたが、堤防清掃と安全会議を兼ねた野外での事業を行いました。会員約70名が参加し、梯川の係留地近辺の河口の清掃を行いました。

その後、1月に発生した会員の海難事故について、再発を防止するための対策を検討。特に出港から帰港まで、仲間で個人の安全を守ることの徹底が周知されるよう、申し合わせました。

夏の恒例イベントは中止。

恒例となっている七尾港の体験航海「ポート天国」や、加南支部の各地で行われているポートフィッシング大会はすべて中止となりました。

小学校の課外授業として、地元の海の体験に協力。

8月21日 七尾湾

能登支部 雌島クラブは、七尾市立小丸山小学校の、6年生約60人の体験航海を行いました。同校では、コロナ感染症防止のため中止になった宿泊体験学習の代替えとして地元の海の体験授業を実施し、当会が協力しました。

能登島大橋をくぐり、和倉温泉街を海から見るなどしました。また、船を降りて、七尾海上保安部職員からロープの結び方を学ぶなど、貴重な体験をしていただきました。



児童館・小学校で「海の授業」を開催。

7月29日 白山市 美川こども園、

8月3日 白山市立北陽小学校

加南支部 手取会が白山市のこども園と小学校で「海の授業」を開催しました。講師は金沢海上保安部にご協力いただきました。

生徒や児童は海のことを興味深く、熱心に話を聞いていました。



県民の森の植樹、草刈りを継続。 クリーンビーチに参加

5月27日、6月28日 加賀市山中 県民の森

大協マリクラブは、毎年の恒例事業となっている、加賀市山中の県民の森で、草刈りを実施しました。



8月22日 金沢市 金石海岸

各地でクリーンビーチ事業が中止となる中、金石海岸での清掃事業が行われ、金沢支部が参加しました。



県海面利用協議会に出席。

11月21日 石川県庁

本年度の県海面利用協議会が石川県庁で開催。委員に委嘱されている濱田理事が出席しました。会では県内海岸での共同漁業権が厳しくなり、漁業権のない人が生物を収獲することの取り締まりが一層強化されるという通達がありました。また、三国海域での漁における福井県との関係者との取り決めについての意見交換もなされました。

海事関係功労者表彰。

7月27日 ポートサイド七尾(七尾市)

当会会員5名が海事功労者の表彰を受賞されました。

●受賞者と所属団体

海上保安庁長官表彰

松村 政揮 (中居マリン協会)

第九管区海上保安本部長表彰

宇野 秀幸 (マリンフィッシングクラブ)

村田 章 (雌島クラブ)

本村外茂由 (個人会員)

山本 芳行 (橋立マリンクラブ)

(50音準、敬称略)



2021年、協会が法人設立20周年を迎えます。

当会がNPO法人として設立され、2021年で20周年を迎えます。設立前の先人たちが当会の礎を築き、設立後は、全県下で、海の安全はもとより、環境保全や文化創造、また緊急時の海上物資輸送など、新たな事業を盛り込み、継続してきました。

会員はもとより、当協会を支えてくださった、顧問の皆様、業界や自治体の方々に深くお礼を申し上げます。



スナップ

海の課外授業
七尾市立小丸山小学校
生徒の七尾湾航海
(能登支部 雌島クラブ)

海の教室
白山市立北陽小学校
(加南支部 手取会)



七尾港 海の事故ゼロキャンペーン出動式後の訓練、
合同パトロール (能登支部)



白山海域での
ミニポートへの
安全パトロール
(加南支部 手取会)



ざぶん賞地区表彰伝達式
同じ学校で、うみまる賞金沢海上保安部長表彰、
石川県知事賞、白山市長賞を受賞された3名が
金沢海上保安部を訪問



金沢港沖 安全パトロール

(上)
ボートにたもでリーフレット
を手渡し。

(左)
出港前に記者に説明する
金沢海上保安部交通課
土田課長
(金沢支部)



クリーンビーチ金沢
マスク着用での開始前の打合せ、
(金沢支部)

